

つなぐ・ひろがる しずおかの道

《 東海道新時代の幕開け 》

新東名高速道路(御殿場 JCT～三ヶ日 JCT) 開通後 1 年間の交通状況および整備効果



交通状況について

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 平均交通量の変化 | 01 |
| 2. 平均IC(インターチェンジ)利用交通量の変化 | 01 |
| 3. 県内の主要断面における交通量(新東名・東名・国道)の変化 | 02 |
| 4. 渋滞状況の変化 | 03 |
| 5. 交通事故の変化 | 03 |
| 6. 旅行速度と所要時間に関する定時性の変化 | 04 |
| 7. 新東名開通による高速道路の交通動向の変化 | 05 |
| 8. 大都市圏間の長距離交通の変化 | 06 |
| 9. 道路利用者の満足度 | 07 |
| 10. 企業の満足度の向上 | 08 |

整備効果について

| | |
|---------------------------------|----|
| 11. 東名集中工事期間中にダブルネットワーク効果が発現 | 09 |
| 12. 東名通行止め時におけるダブルネットワーク機能 | 10 |
| 13. 休憩施設における防災救急機能の発揮(ヘリポートの活用) | 10 |
| 14. 市街地における交通の流れの変化(静岡市) | 11 |
| 15. 生活道路の安全性向上(浜松市) | 12 |
| 16. 企業活動の変化 | 13 |
| 17. 医療搬送における所要時間の短縮 | 14 |
| 18. ICアクセス圏域の拡大 | 14 |
| 19. 商業施設(ネオパーサ)とスマートICの利用状況 | 15 |
| 20. 観光振興への寄与 | 16 |
| 21. 地域経済の活性化に向けた動き | 17 |

高速ネットワークの整備

| | |
|--------------------------------|----|
| 22. 新東名とネットワークを形成する三遠南信自動車道の整備 | 17 |
| 23. 新東名とネットワークを形成する伊豆縦貫自動車道の整備 | 18 |
| 24. 今後の開通予定 | 18 |

新東名(静岡県)インパクト調整会議

国土交通省中部地方整備局

NEXCO中日本東京支社

静岡 岡 県

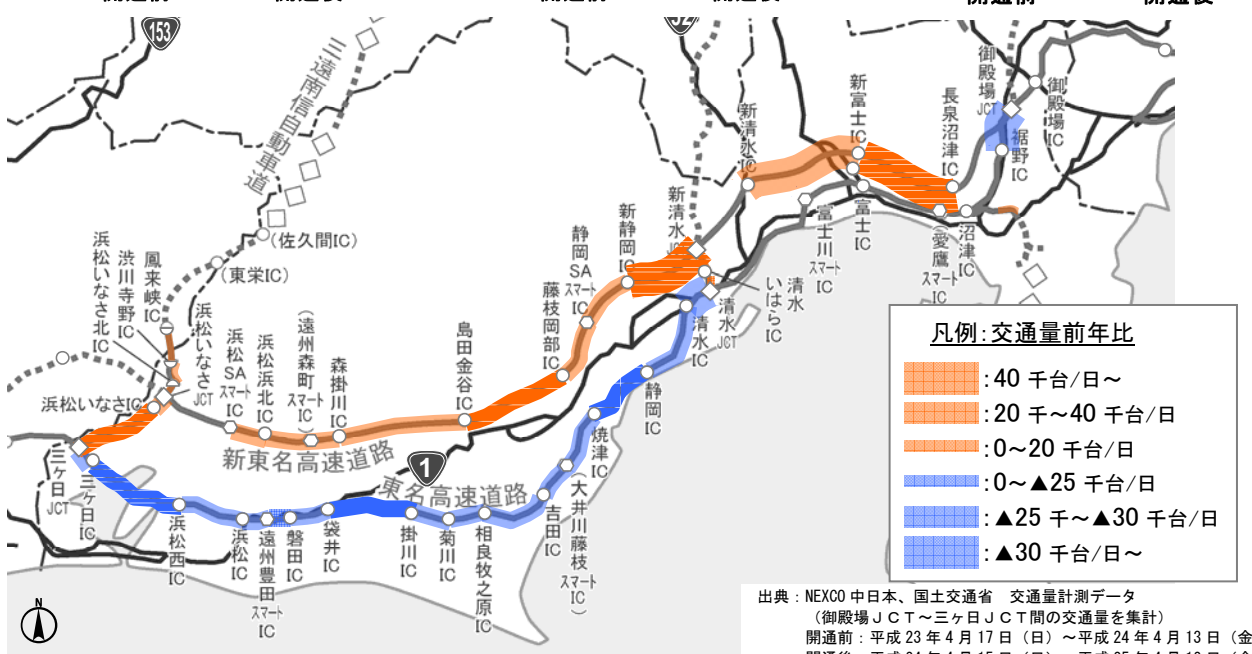
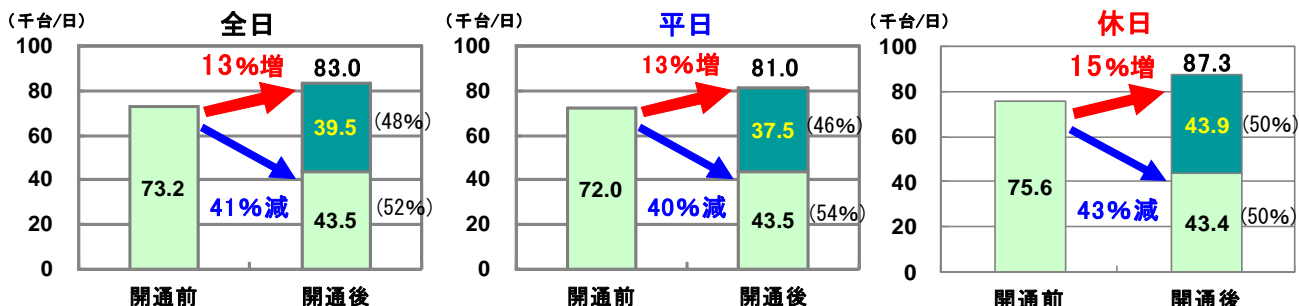
静岡 岡 市

浜松 松 市

1. 平均交通量の変化

- ・ 新東名の平均交通量は、全日40千台/日、平日38千台/日、休日44千台/日
- ・ 静岡県内の新東名と東名の交通量合計は、全日13%、平日13%、休日15%とそれぞれ増加

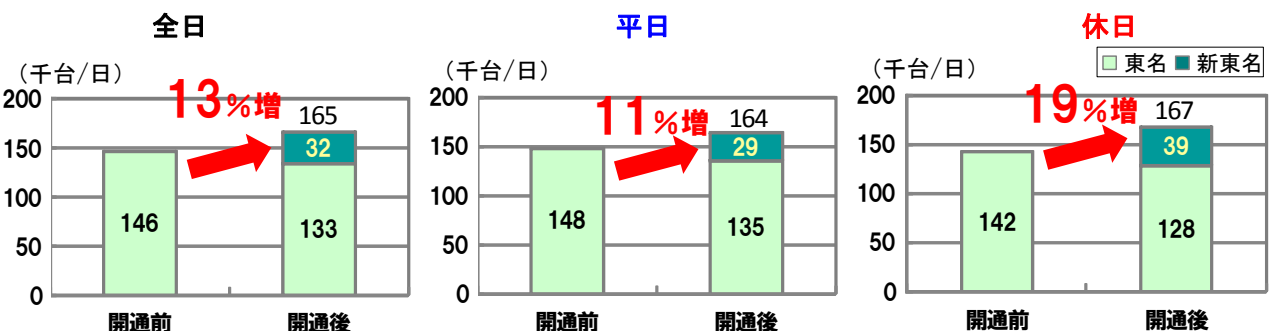
平均交通量



2. 平均IC (インターチェンジ) 利用交通量の変化

- ・ 新東名の平均IC (インターチェンジ) 利用交通量は、全日32千台/日、平日29千台/日、休日39千台/日
- ・ 静岡県内の新東名と東名の平均IC利用交通量は、全日13%、平日11%、休日19%とそれぞれ増加 (行動圏の拡大や来県者の増加)

平均IC利用交通量



出典: NEXCO中日本 交通量計測データ
 (料金所を通過した台数の日あたり平均値 (1回の利用につき1台カウント: 出口交通量))
 開通前: 平成23年4月17日(日)~平成24年4月13日(金)
 開通後: 平成24年4月15日(日)~平成25年4月12日(金)

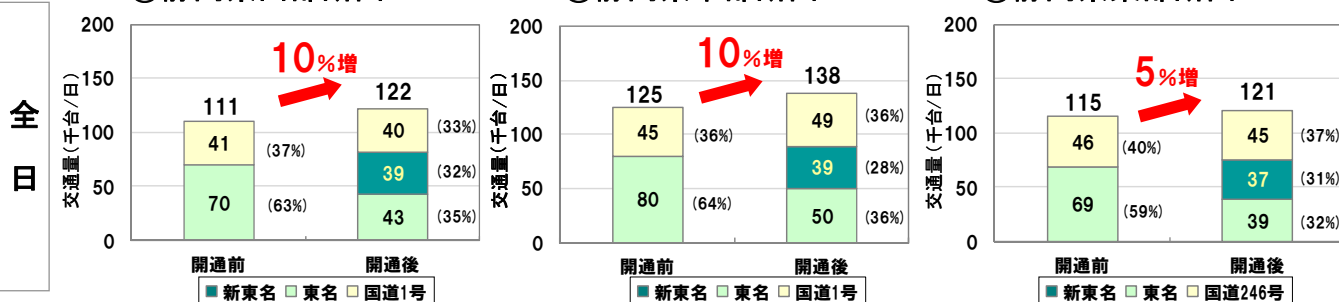
3. 県内の主要断面における交通量（新東名・東名・国道）の変化

- ・ 静岡県内の主要断面における新東名、東名、国道の断面交通量は、全日最大10%、平日最大11%、休日最大11%とそれぞれ増加
- ・ 並行する国道は、新東名の開通に合わせ4車線化した国道1号静岡清バイパスの静岡県中部断面において増加傾向がみられるが、全体的に大きな変化はみられない

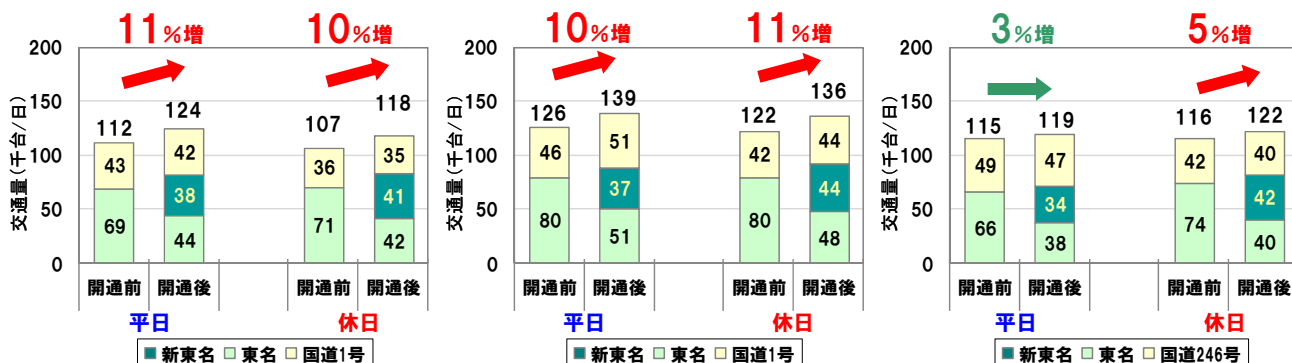
③ 静岡県西部断面

② 静岡県中部断面

① 静岡県東部断面



平・休日

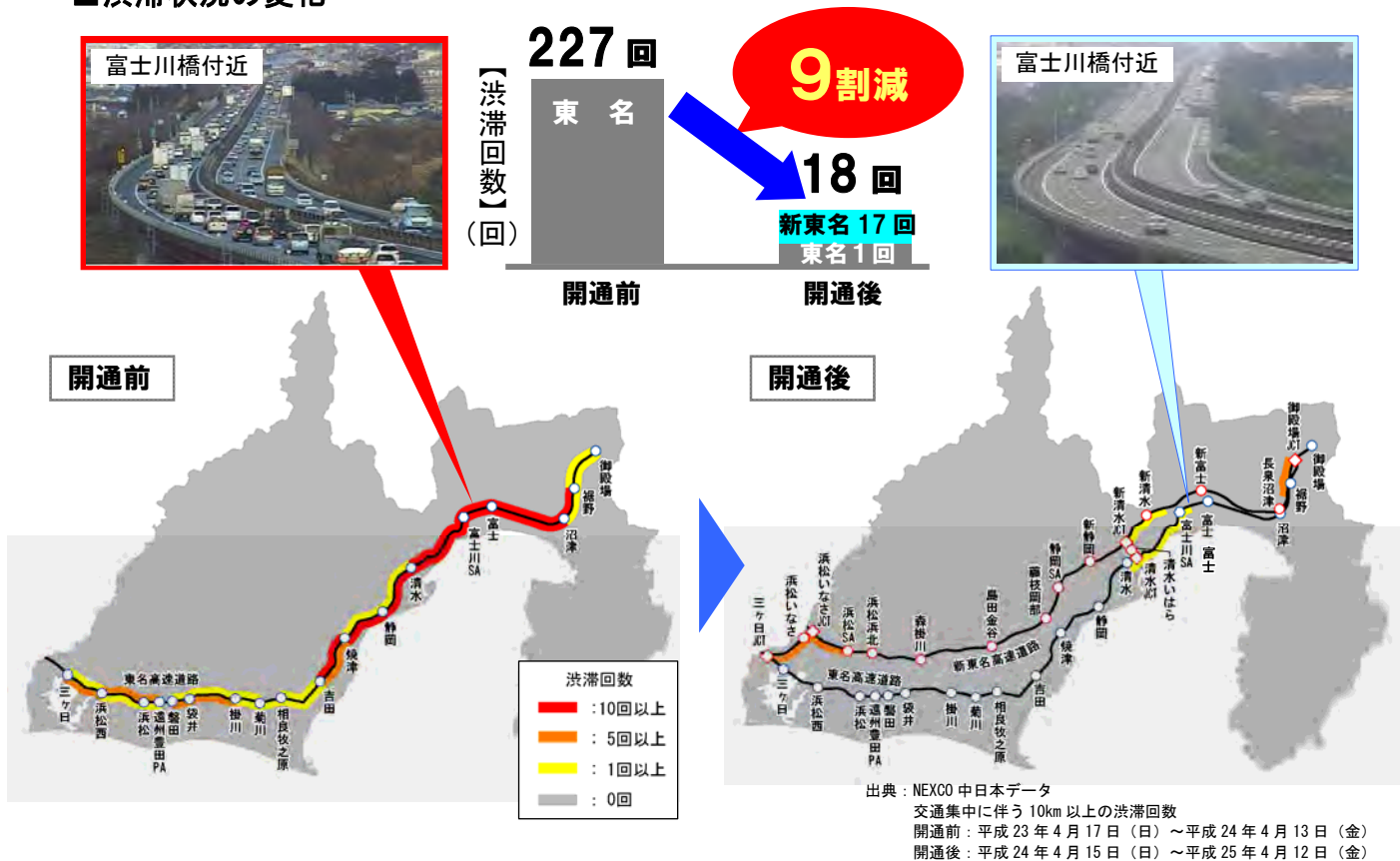


出典：中日本高速道路株式会社、国土交通省 交通量計測データ
 平日開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金)の平日
 平日開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年4月12日(金)の平日
 休日開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金)の休日(土曜・日曜・祝日)
 休日開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年4月12日(金)の休日(土曜・日曜・祝日)

4. 渋滞状況の変化

- ・ 開通後1年間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は18回
- ・ 昨年同時期に東名の静岡県内で発生していた渋滞回数と比較すると、約9割減少

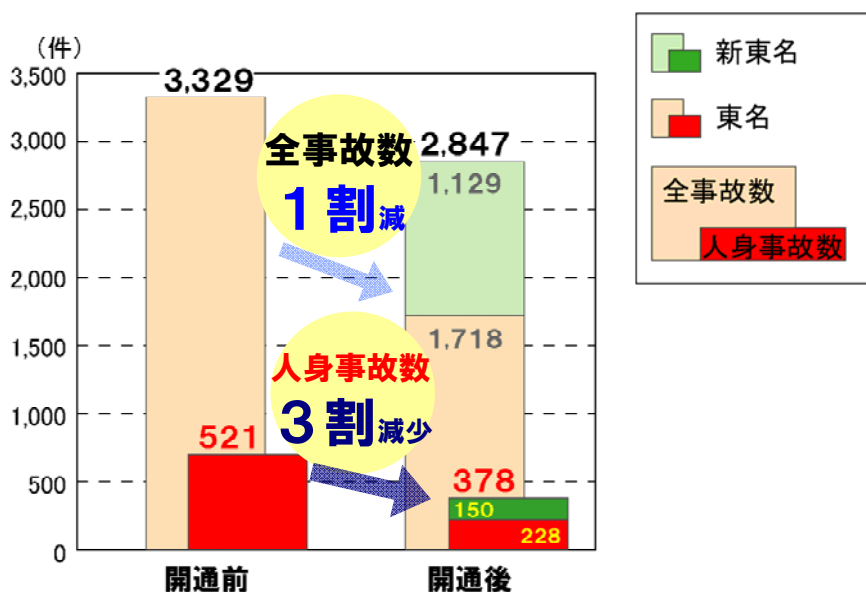
■ 渋滞状況の変化



5. 交通事故の変化

- ・ 新東名と東名における人身事故件数は、昨年同時期の東名の件数より約3割減少

■ 交通事故の変化

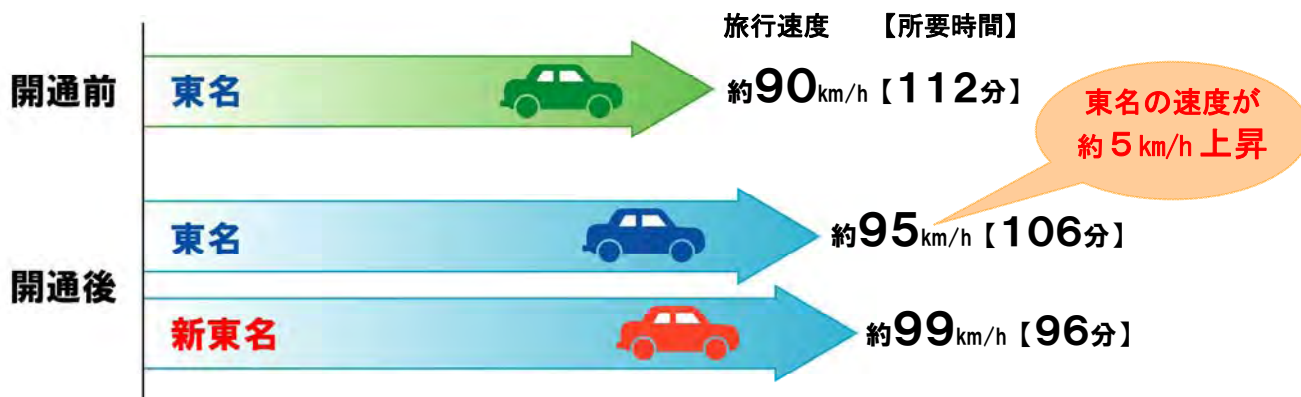


出典：静岡県警記者発表
 開通前：平成23年4月14日(木)～平成24年4月13日(金)
 開通後：平成24年4月14日(土)～平成25年4月13日(土)

6. 旅行速度と所要時間に関する定時性の変化

- 東名の平均旅行速度は、新東名開通後、約95km/h（5 km/h上昇）、新東名は99km/h
- 東名の所要時間のばらつき減少（23分→12分）、定時性が大幅に向上

■旅行速度【所要時間】の変化



出典：民間プローブデータを用いた集計結果

開通前：平成23年4月17日（日）～平成24年1月31日（火）

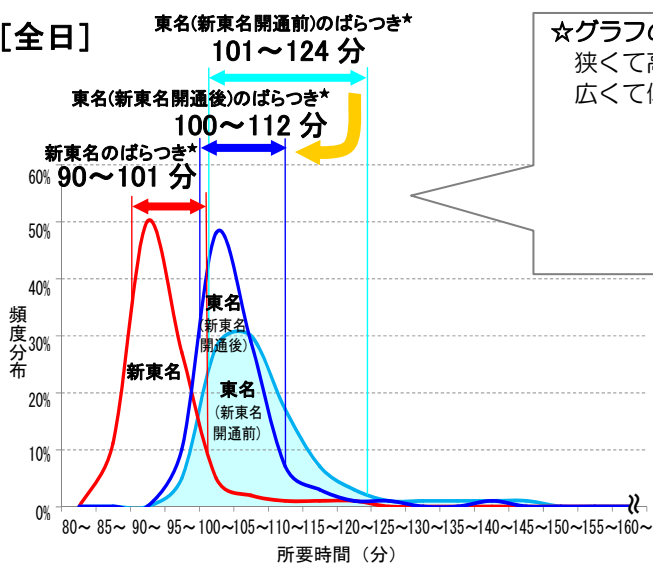
開通後：平成24年4月15日（日）～平成25年1月31日（木）

旅行速度は、御殿場JCT～三ヶ日JCT間の各区間の旅行速度の平均値※東名の80km/h規制区間及び連絡路は対象としない。

所要時間は、新東名・東名とも御殿場JCT～三ヶ日JCT間の時間

■御殿場JCT～三ヶ日JCT間の所要時間の分布

【全日】



☆グラフの見方：グラフの幅と高さ☆

狭くて高い＝ばらつきが小さい→いつも同じ到着時間
 広くて低い＝ばらつきが大きい→到着時間が不確定

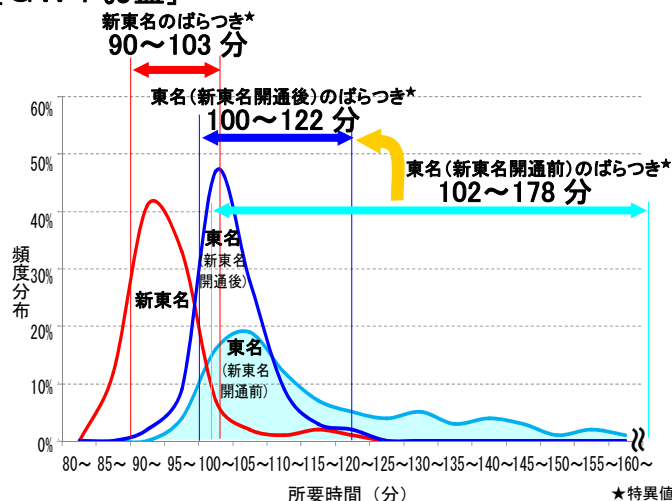


■開通後、東名の所要時間のばらつきが2分の1に減少

23分 → 12分

2分の1に減少

【GW+お盆】



■開通後、東名のGW・お盆の所要時間のばらつきが3分の1に減少

76分 → 22分

3分の1に減少

★特異値(所要時間の上位10%、下位10%)を除いた所要時間のばらつき

※国土交通省 中部地方整備局・国土技術政策総合研究所による民間プローブデータを用いた集計結果

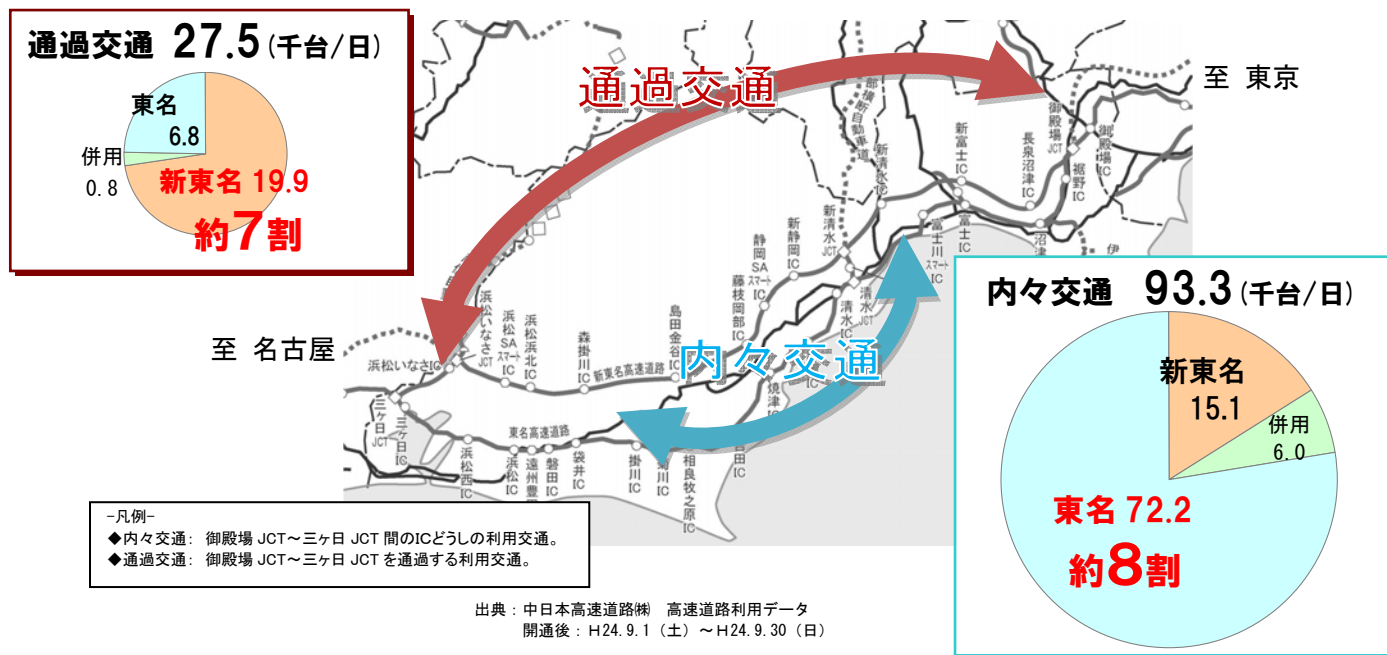
開通前：平成23年4月17日（日）～平成24年1月31日（火）／平成23年GW お盆

開通後：平成24年4月15日（日）～平成25年1月31日（木）／平成24年GW お盆

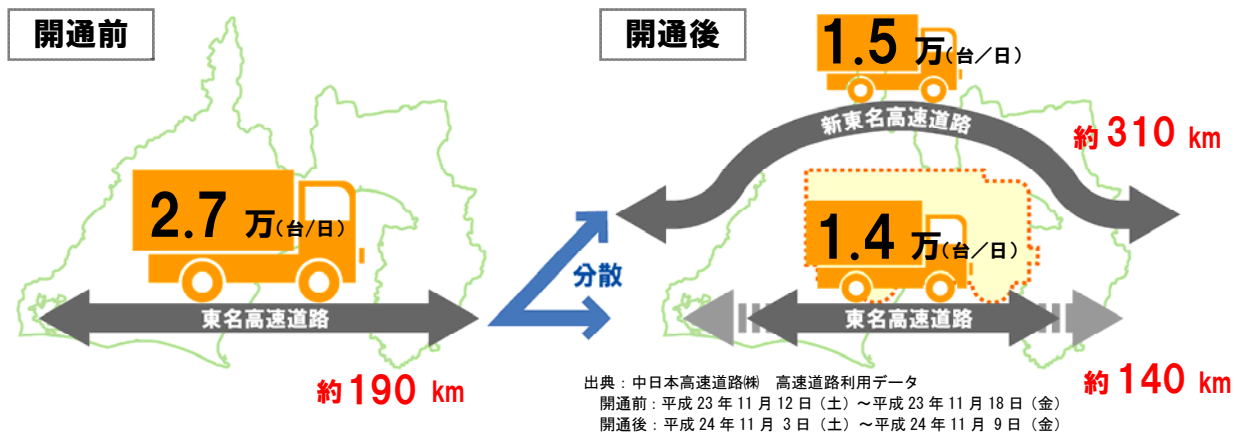
7. 新東名開通による高速道路の交通動向の変化

- ・ 静岡県内を通過する交通の約7割は新東名を利用、県内移動の約8割は東名を利用、新東名と東名の役割分担が明確化
- ・ 新東名の大型車の平均移動距離は約310kmである一方、東名は約190kmから140kmに減少し、東名の移動距離の長い通過交通が新東名に転換
- ・ 東名の大型車の平均交通量は、開通前に比べ減少（2.7万台/日→1.4万台/日）

■新東名と東名の役割分担の明確化



■大型車平均交通量と平均移動距離の変化



TOPICS 新東名と東名のIC利用交通量TOP3

新東名と東名のIC利用交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“IC利用交通量”TOP3

| 順位 | IC名 | 利用交通量 (千台/日) |
|----|--------|--------------|
| 1位 | 新富士IC | 6.7 |
| 2位 | 長泉沼津IC | 5.6 |
| 3位 | 新静岡IC | 4.0 |

◆東名“IC利用交通量”減少量TOP3

| 順位 | IC名 | 利用交通量 (千台/日) |
|----|------|---------------------|
| 1位 | 富士IC | ▲4.1 (12.8→8.7) |
| 2位 | 沼津IC | ▲2.9 (17.0→14.1) |
| 3位 | 浜松IC | ▲1.5 (13.5→12.0) |

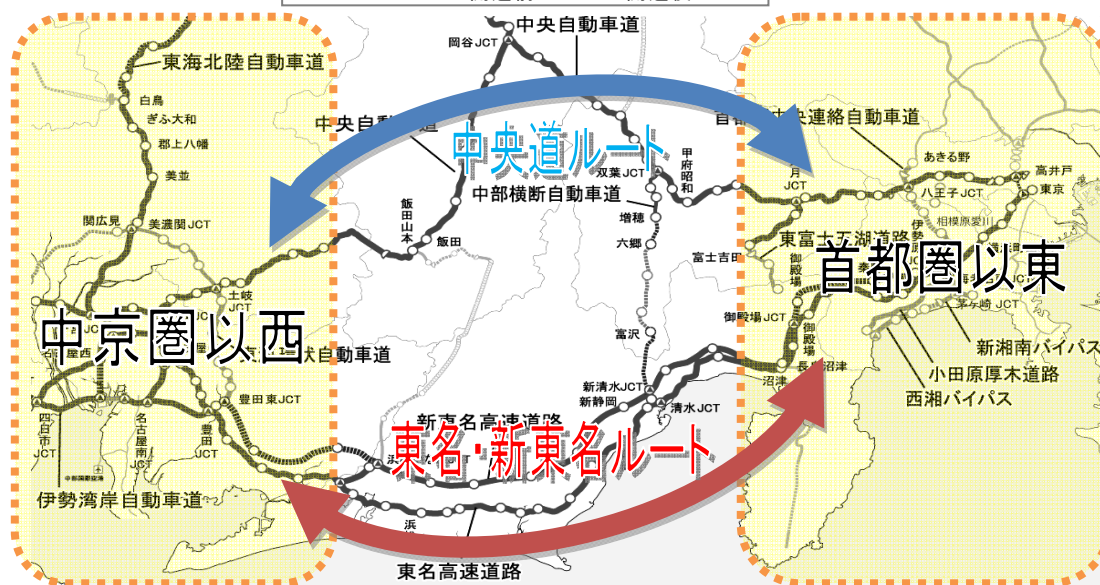
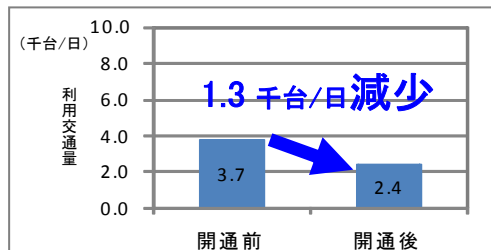
出典：NEXCO中日本 交通量計測データ (料金所を通過した台数の日あたり平均値 (1回の利用につき1台カウント：出口交通量))
開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金) 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年4月12日(金)

8. 大都市圏間の長距離交通の変化

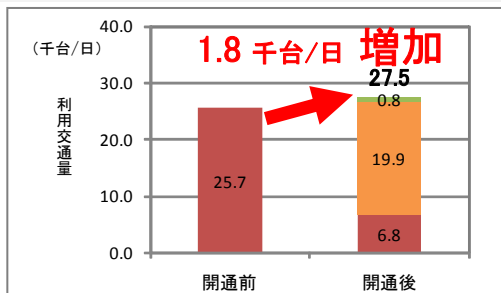
- 首都圏以東⇔中京圏以西の大都市圏間の長距離交通は、中央道ルートは約1.3千台／日減少し、東名・新東名ルートは約1.8千台／日増加しており、中央道から東名・新東名へ転換の傾向

■首都圏以東⇔中京圏以西の大都市圏間の長距離交通の変化

中央道ルート



東名・新東名ルート



出典：中日本高速道路㈱ 高速道路利用データ
 開通前：平成23年9月1日(木)～平成23年9月30日(金)
 開通後：平成24年9月1日(土)～平成24年9月30日(日)

TOPICS 新東名と東名の区間交通量 TOP3

新東名と東名の区間交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“区間交通量”TOP3

| 順位 | 区間名 | 交通量 (千台/日) |
|----|----------------|---------------|
| 1位 | 新清水 IC～新清水 JCT | 44.8 |
| 2位 | 長泉沼津 IC～新富士 IC | 44.0 |
| 3位 | 新富士 IC～新清水 IC | 43.3 |

◆東名“区間交通量”減少量TOP3

| 順位 | 区間名 | 交通量 (千台/日) |
|----|------------------|----------------------|
| 1位 | 清水 JCT～清水 IC | ▲36.3 (71.2→34.9) |
| 2位 | 沼津 IC～富士 IC | ▲33.1 (74.2→41.1) |
| 3位 | 富士川JCT IC～清水 JCT | ▲32.4 (71.2→38.8) |

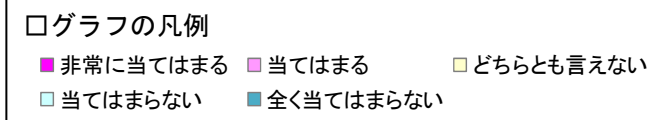
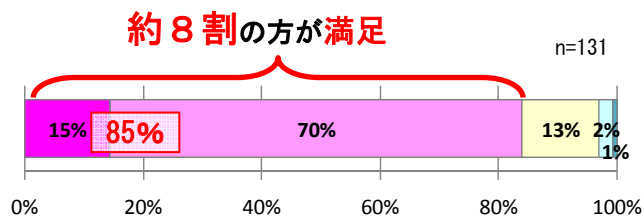
出典：中日本高速道路㈱ 交通量計測データ (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年4月13日(金) 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年4月12日(金)

9. 道路利用者の満足度

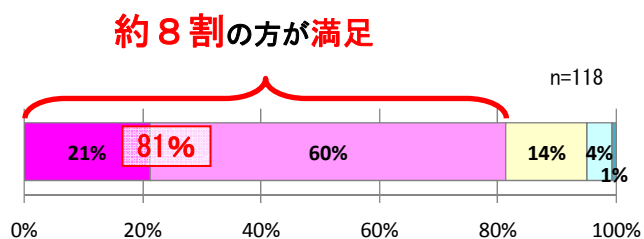
- ・ 約8割の利用者が、夜間や悪天候時も含めて、安全に安心して運転できると評価
- ・ また、本線の走行や休憩施設について、快適の観点でも、約8割の利用者が満足

■安全・安心についての満足度

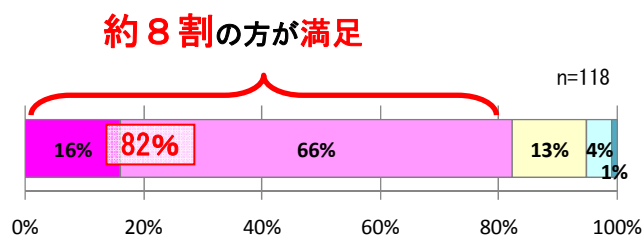
Q. 新東名は、安全に安心して運転できる



Q. 新東名は、夜間も安心して快適に運転できる

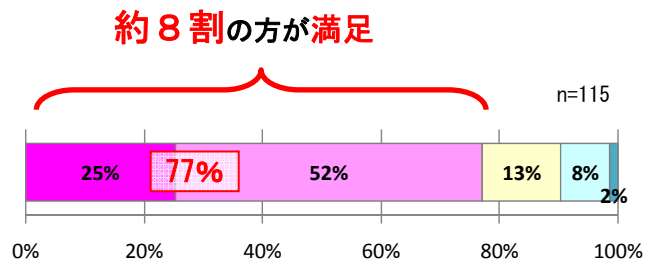


Q. 新東名は、雨天などの悪天候でも安全に運転できる

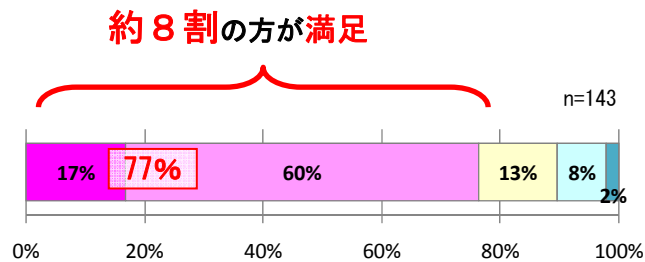


■快適についての満足度

Q. 新東名は、渋滞が少なく快適である



Q. 新東名のSA・PAは、居心地が良く、ゆっくりと休める



新東名ができたことで、新東名だけでなく、東名も快適に走れるようになり、とても便利になりました。



SA・PAの駐車場は、大型車との区別により、ゆっくり過ごせました。道路は、幅が広く、ゆったり感があり、安心でした。



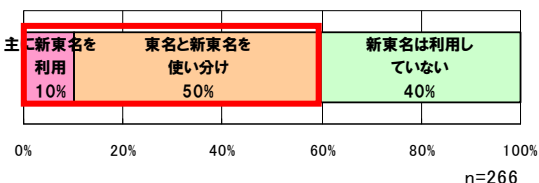
出典：中日本高速道路㈱ 顧客満足度（CS）調査結果（2012）
中日本高速道路㈱ お客様の声

10. 企業の満足度の向上

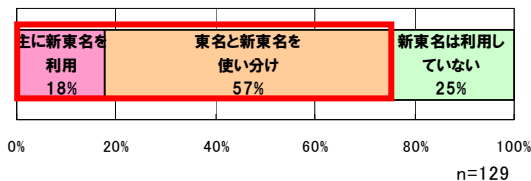
- ・ 製造品等の運搬系企業は約6割が新東名を利用、営業系企業は、約8割が利用し、東名と使い分けがどちらの業態ともに約5割以上
- ・ 県内企業の県内すべての道路に関する満足度は、開通前の調査結果に比べ県内・県外企業とも大きく向上（県内企業：約5割→約8割、県外企業：約6割→7割）

業態別の新東名の利用について

製造品等の運搬系企業

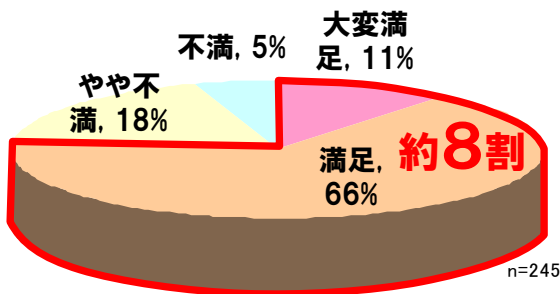


営業系企業

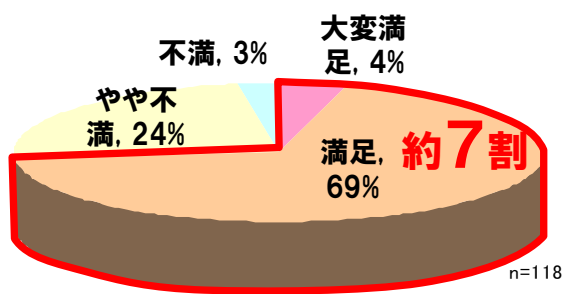


静岡県内外別の満足度

県内企業

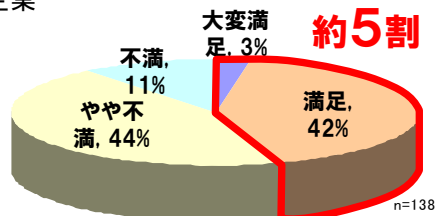


県外企業

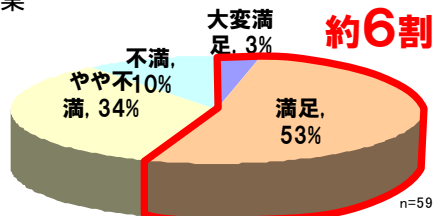


開通前の満足度結果

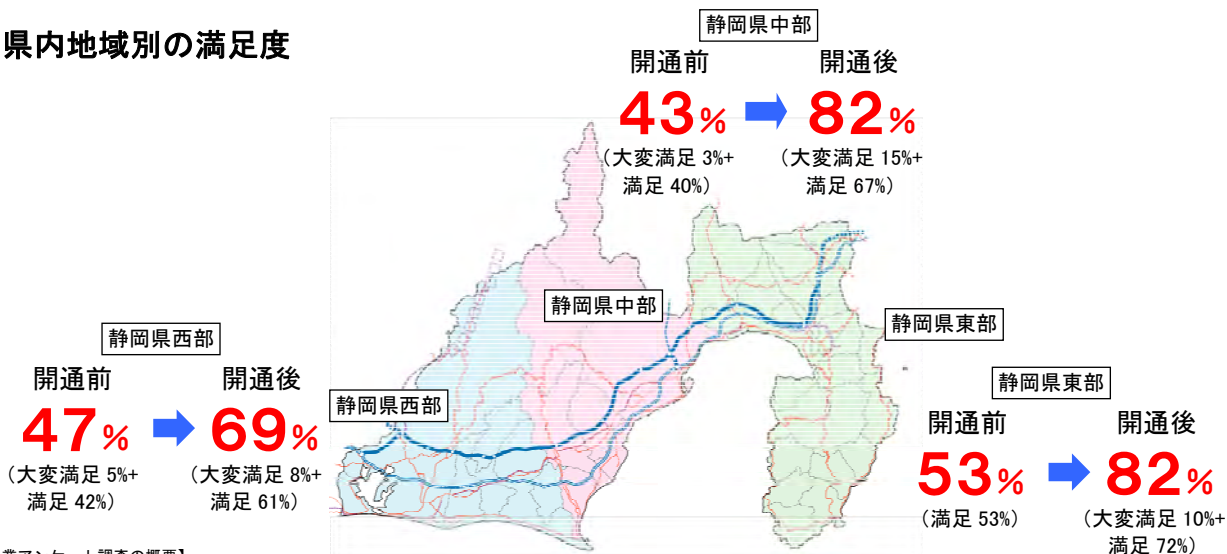
県内企業



県外企業



県内地域別の満足度



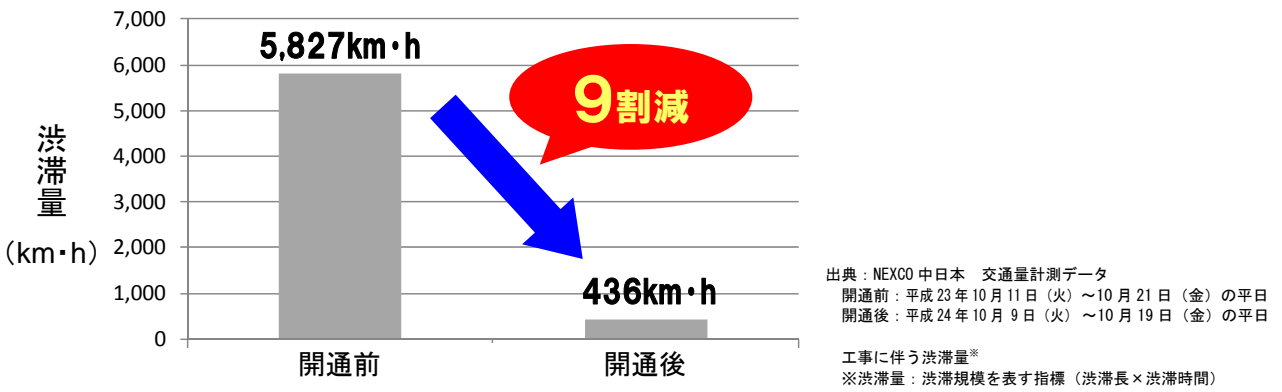
【企業アンケート調査の概要】

国土交通省中部地方整備局が、静岡県、愛知県、神奈川県、東京都、その他の企業（1,235社）に郵送式のアンケート調査を実施（平成24年10月中旬～11月12日締め切り）。回収は、480社（県内286社、県外168社、不明26社）、回収率39%

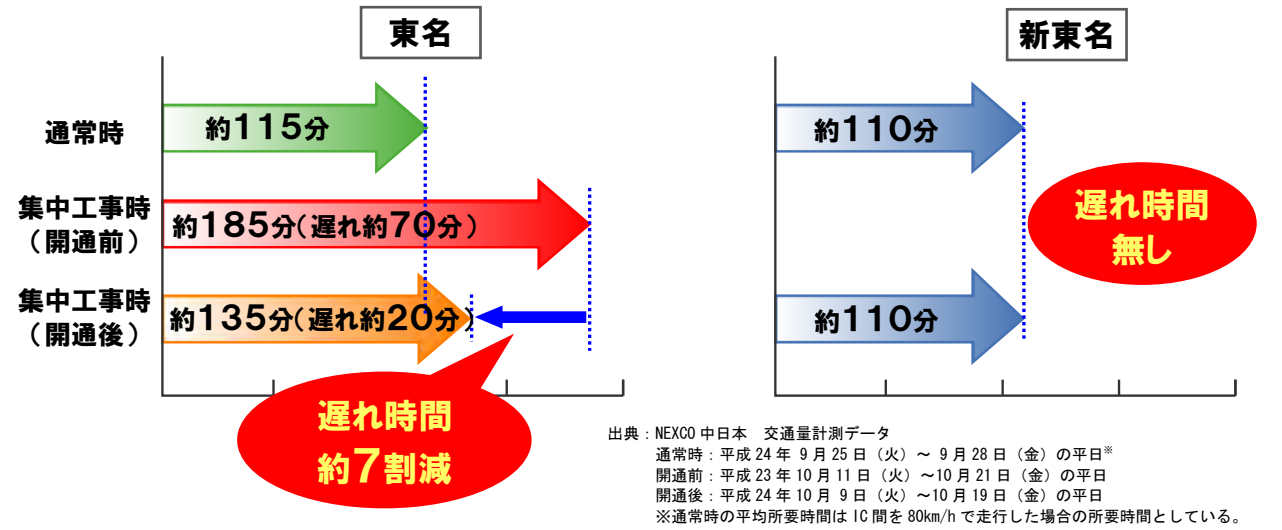
1.1. 東名集中工事期間中にダブルネットワーク効果が発現

- 東名集中工事期間中の御殿場JCT～三ヶ日JCT間の渋滞量は、開通前と比較すると、約9割減少
- 平均所要時間は、開通前の約70分の遅れが、開通後は、約20分の遅れにとどまり、平均所要時間の遅れは、約7割減少、一方で、新東名の平均所要時間に遅れはなし

■御殿場JCT～三ヶ日JCTの渋滞状況

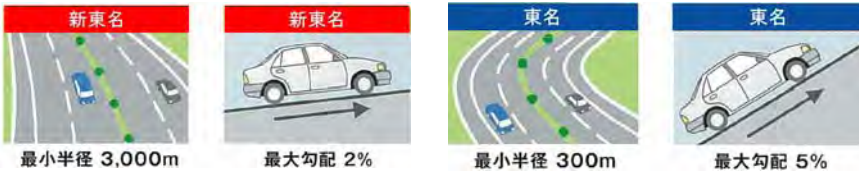


■御殿場JCT～三ヶ日JCTの平均所要時間

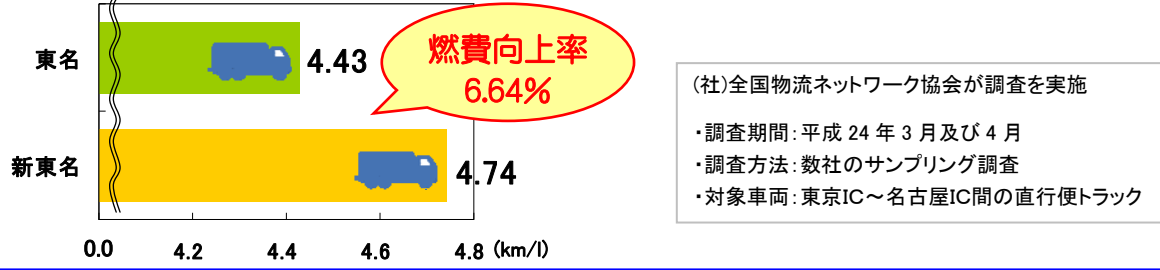


TOPICS 新東名と東名利用の燃費比較

◆ 新東名は、東名に比べ走行性や安全性に重視した道路線形です。（御殿場JCT～三ヶ日JCT間）



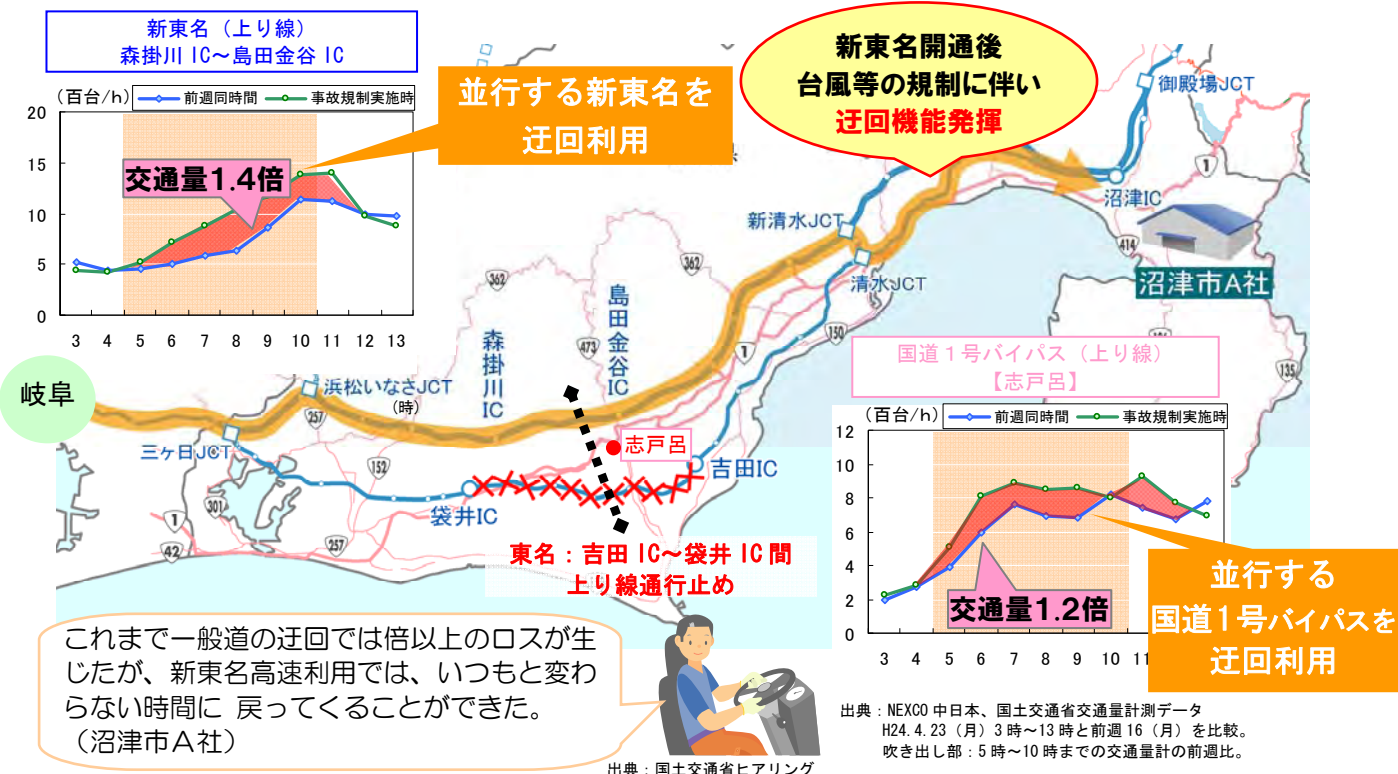
◆ 東京～名古屋間の利用の場合、新東名は、東名に比べ約7%燃費が向上する結果となりました。



1 2. 東名通行止め時におけるダブルネットワーク機能

- 東名の大型車の事故による通行止めでは、新東名の交通量が前週の1.4倍と、ダブルネットワーク効果が発現

■事故による東名通行止め時の交通量(上り)の変化(前週同時間比較)



1 3. 休憩施設における防災救急機能の発揮(ヘリポートの活用)

- 新東名高速道路の休憩施設には、防災救急機能の一つとしてヘリポートが整備
- ドクターヘリが出動し、遠州森町PAの急病人に迅速な医療処置を実施
- 大規模災害時に備え、休憩施設のヘリポートを活用した防災訓練を実施

■ドクターヘリの離着陸

浜松消防がドクターヘリの出動を要請、遠州森町PA内ヘリポートに着陸。急病人は、迅速かつ適切な医療処置を受けることができました。



ドクターヘリ(遠州森町PA) 聖隷三方原病院提供



- 医療上、より早い医師による処置(ファーストタッチ)が重要であり、休憩施設にヘリポートがあることで、実現しやすい環境となった。
- 新東名は山間部を通過し、近隣に医療施設がないため、ヘリでの搬送は有効である。

出典: 聖隷三方原病院(医局)ヒアリング結果

■ヘリポートを活用した防災訓練の実施



静岡県警航空隊中型ヘリ(駿河湾沼津SA)

新東名において実施した主な訓練

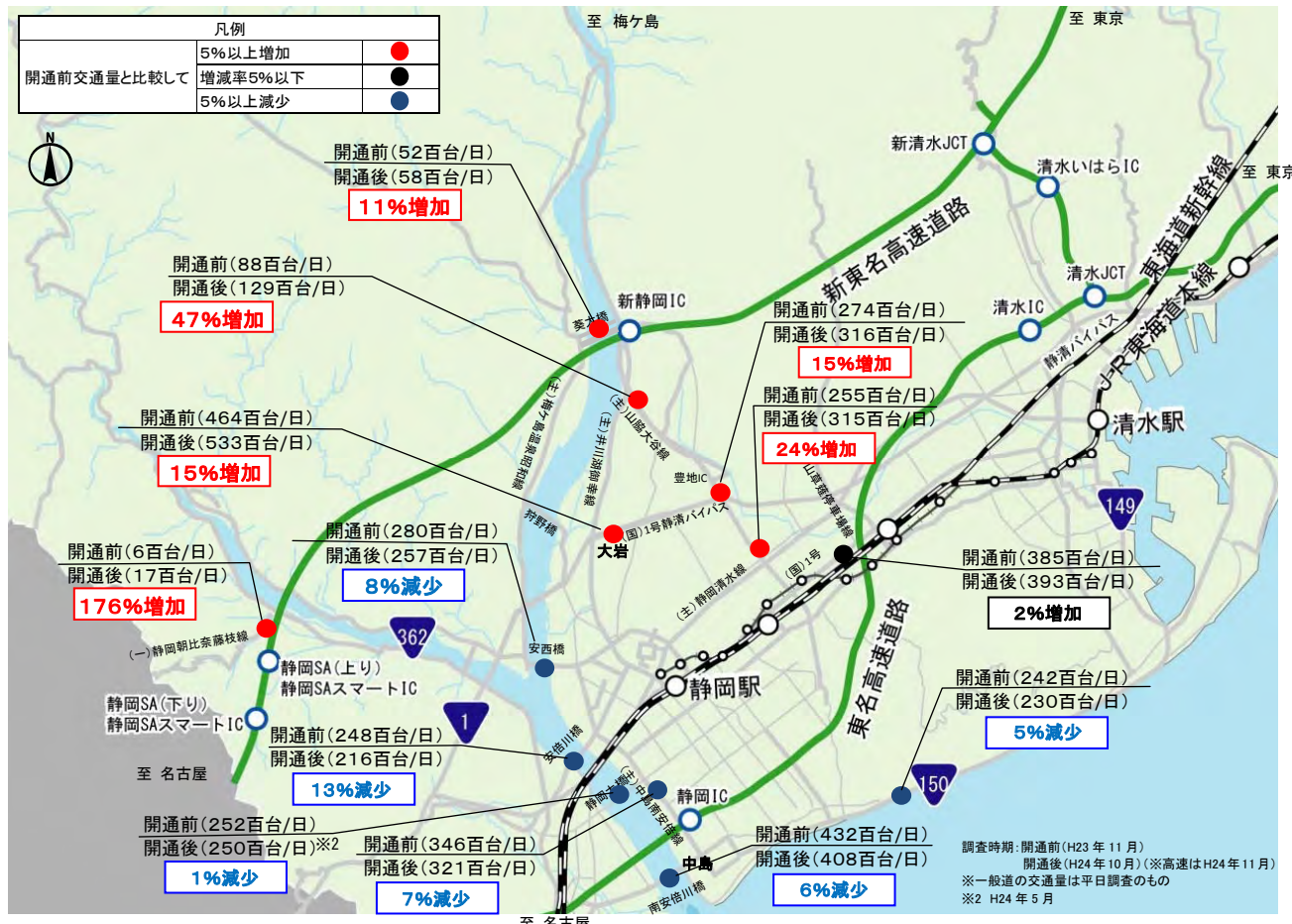
日時:〈休憩施設〉:訓練の名称

- H25. 2. 7:〈浜松 SA〉:南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域防災訓練
- H25. 2. 5:〈駿河湾沼津 SA 他 5 箇所〉:静岡県航空受援訓練
- H24. 9. 2:〈遠州森町 PA〉:静岡県総合防災訓練
- H24. 5.30:〈浜松 SA〉:静岡県西部危機管理局防災訓練

1.4. 市街地における交通の流れの変化（静岡市）

- ・新東名およびアクセス道路の開通により、静岡市街地の交通の流れが大きく変化
- ・新東名新静岡ICと市街地を結ぶ（主）山脇大谷線の交通量が増加（最大47%増）
- ・安倍川渡河断面の一般道路では、交通量が減少傾向（最大13%減）

市街地の交通量の変化



市街地の交通分散イメージ



賤機山より静岡市街地方面を望む

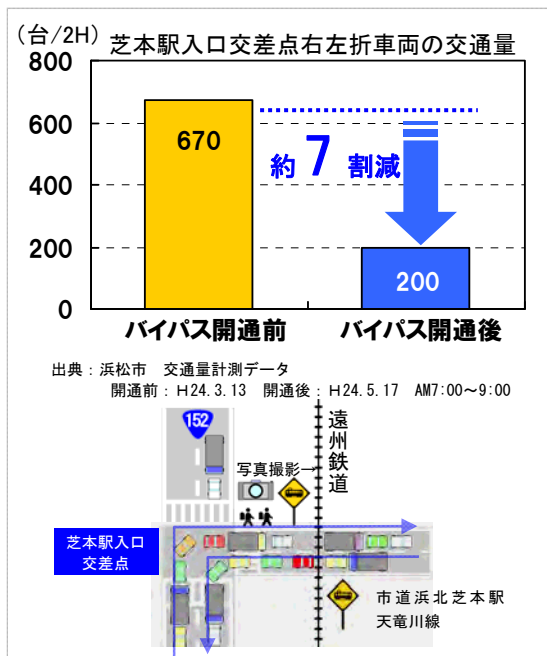
新東名と静岡バイパスが（主）山脇大谷線を経由して連結することで、高速道路へのアクセス性向上が図られています。

また、静岡バイパスの唐瀬IC～羽鳥IC4車線化により、市街地への交通分散が図られています。

1.5. 生活道路の安全性向上（浜松市）

- ・ 新東名へのアクセス道路である国道152号バイパスの開通により、浜松市内の生活道路を通過する交通が約7割減少
- ・ 地元の交通状況を良く知る方からは「通学路の安全性が向上した」との声

■新東名アクセスへの通過交通の転換



バイパス開通後、交通量が少なくなって、子ども達も安全に通学できるようになったと思っています。
(市道浜北芝本天竜川線 交通誘導員)



国道152号バイパス開通
(平成24年3月28日)

生活道路(通学路)

開通前



平成24年3月早朝撮影

開通後



平成24年7月早朝撮影

16. 企業活動の変化

- ・ 新東名を利用することで、目的地までの所要時間が大幅に短縮、自社便で2往復が可能となり、輸送コストが約25%削減
- ・ 新東名 清水連絡路の開通により、南北方向の企業活動においても効果を発現

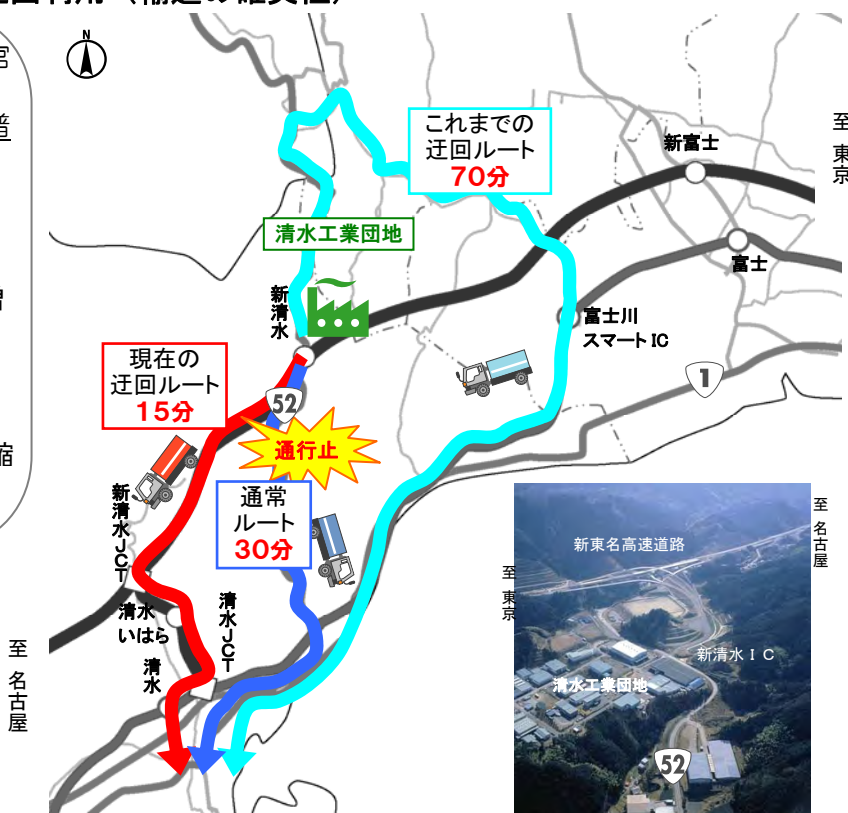
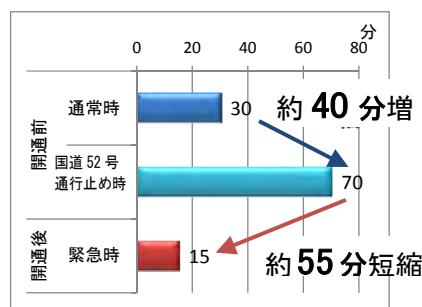
■ 自社便で2往復が可能となり、輸送コストが約25%削減

- ・ 厚木に緩衝材を輸送している清水工業団地のA社は、新東名利用により所要時間が往復1時間削減したため、自社便での2往復が可能となりました。開通前に業者に委託し輸送（1往復）していたころより、コストが約25%削減しました。



■ 国道52号の通行止め時に迂回利用（輸送の確実性）

国道52号が止まると、富士宮方面から迂回していました。新東名開通後は、通行止め時も普段通り出荷できています。



出典：企業ヒアリング

17. 医療搬送における所要時間の短縮

- ・ 救急搬送等で新東名が利用され、搬送時間が短縮し、傷病者への負担も軽減
- ・ 清水区^{ししはら}宍原地区から静岡県立総合病院への搬送時間は、新東名開通後28分短縮し、20分で病院に到着が可能
- ・ 傷病者をより迅速に病院に搬送できるようになり救命の確率が向上

■新東名利用による救急搬送について ■宍原地区から静岡県立総合病院への搬送の場合

新東名を利用することで、一般道路のカーブやアップダウン、段差などを回避でき、振動による傷病者への負担を軽減することができています。

また、病院到着時間が短縮し、より迅速に治療ができます。



出典：静岡市消防局ヒアリング

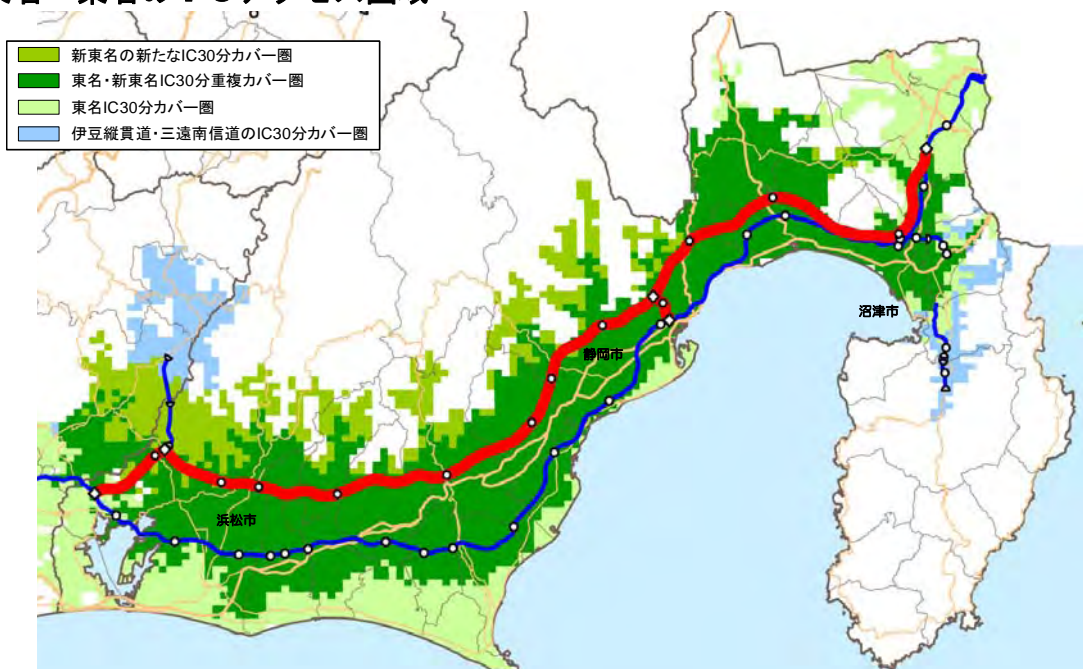


※清水区宍原地区から静岡県立総合病院に搬送した場合
 (開通前ルート) 国道52号⇒国道1号静岡バイパス
 (開通後ルート) 国道52号⇒新東名高速道路(新清水IC⇒新静岡IC)⇒(主)山脇大谷線
 開通前所要時間：平成22年道路交通センサス混雑時平均旅行速度から算出
 開通後所要時間：新東名高速道路、主要地方道山脇大谷線)規制速度から算出
 (上記以外の道路) 平成22年道路交通センサス混雑時平均旅行速度

18. ICアクセス圏域の拡大

- ・ 新たな高速IC30分圏域、また新東名、東名両方からの30分圏域が拡大

■新東名・東名のICアクセス圏域



出典：民間プローブデータを用いた集計結果(休日12時間の平均旅行速度)
 東名：平成23年6月
 新東名・伊豆縦貫道・遠南信道のIC30分カバー圏

19. 商業施設(ネオパーサ)とスマートICの利用状況

- ・ 商業施設であるネオパーサ（7箇所）の1年間の来場者数は、約3,800万人
- ・ 商業施設を目的地とする声や、利用時の快適性を感じている声
- ・ 浜松SAスマートICは休日2.5千台/日、静岡SAスマートICは休日1.8千台/日が利用

■高速道路商業施設の利用状況



平成25年1月撮影



平成25年1月撮影

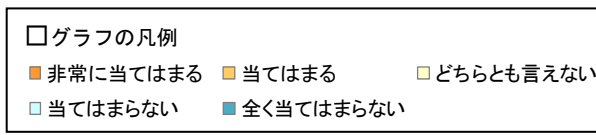
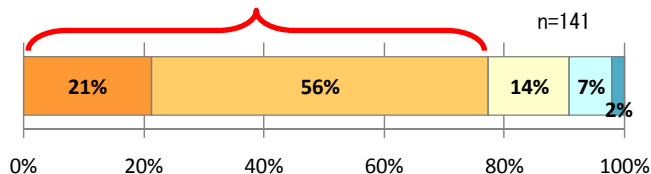
NEOPASA ほとんどの雰囲気が良く楽しいです。毎回行く度に新しい発見があるし、施設自体もどんどん進化して綺麗になっているので、いつも新東名を走るのが楽しみです。



■高速道路商業施設へのリピート志向

Q. 新東名には、また立ち寄りたくなるSA・PAがある。

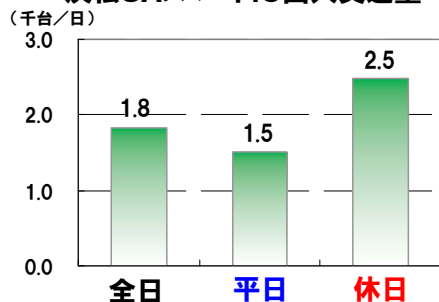
約8割の方がまた立ち寄りたい



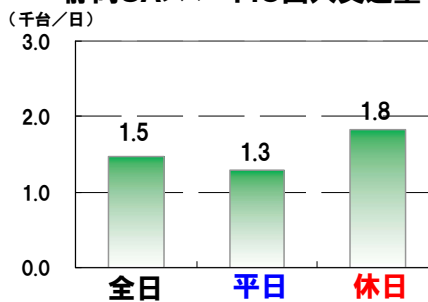
出典：中日本高速道路㈱ 顧客満足度（CS）調査結果（2012）
来場者数は平成24年4月14日（土）～平成25年4月14日（日）までの、各NEOPASA 出入口での観測結果

■スマートICの利用状況

浜松SAスマートIC出入交通量



静岡SAスマートIC出入交通量



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
平成24年4月15日（日）～平成25年4月12日（金）

浜松SA付近の住民の声

・ 高速道路まで30分程度かかっていたが、新東名のスマートICが出来たことで、10分程度で利用できるようになり大変便利になった。また、高速道路の利用頻度も以前より増えた。



静岡SA付近の住民の声

・ SA内のラーメン店が24時間営業ということもあり、利用している。
・ SA内にドッグランがあるので、散歩時に利用している。
・ 街が便利になっていることを実感している。SAがなければこんなに便利だとは体感できなかっただろう。



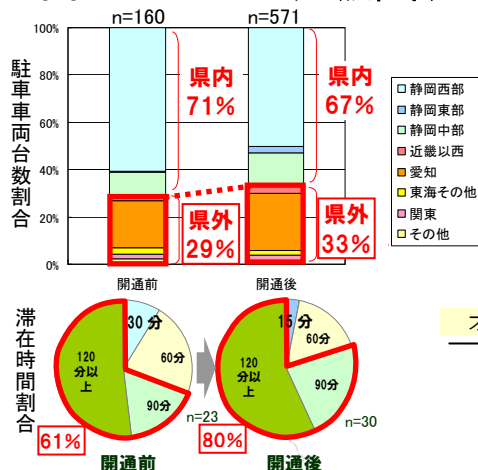
出典：浜松市・静岡市ヒアリング

20. 観光振興への寄与

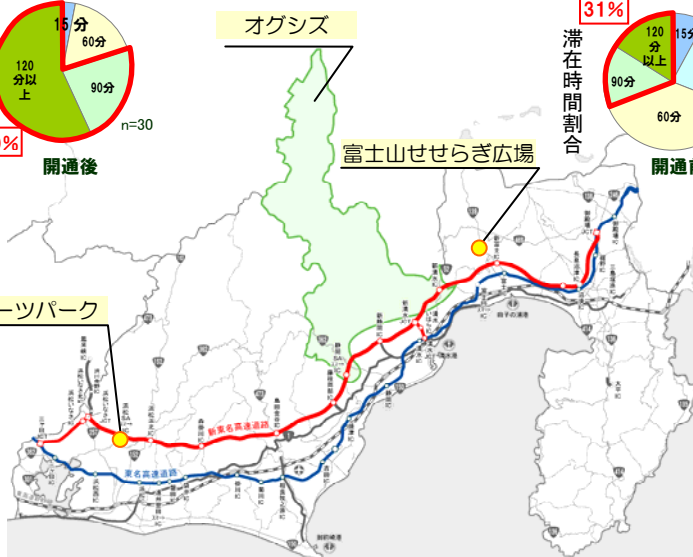
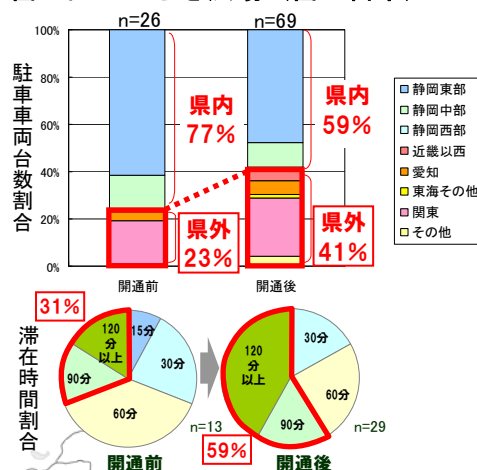
- ・ 新東名沿線の観光施設（浜松市・富士宮市）の駐車場利用は県外車両が増加
- ・ 観光施設（浜松市・富士宮市）の利用者アンケート結果では、昨年に比べ滞在が長時間化の傾向
- ・ オクシズ（静岡市）の観光施設では、新東名の開通により高速道路のICが近くなり、利用者が増加傾向（7%増）
- ・ 主な観光施設の静岡市外からの観光客の6割以上が新東名を利用

■新東名沿線の観光施設の駐車車両と滞在時間の変化

はままつフルーツパーク（浜松市）

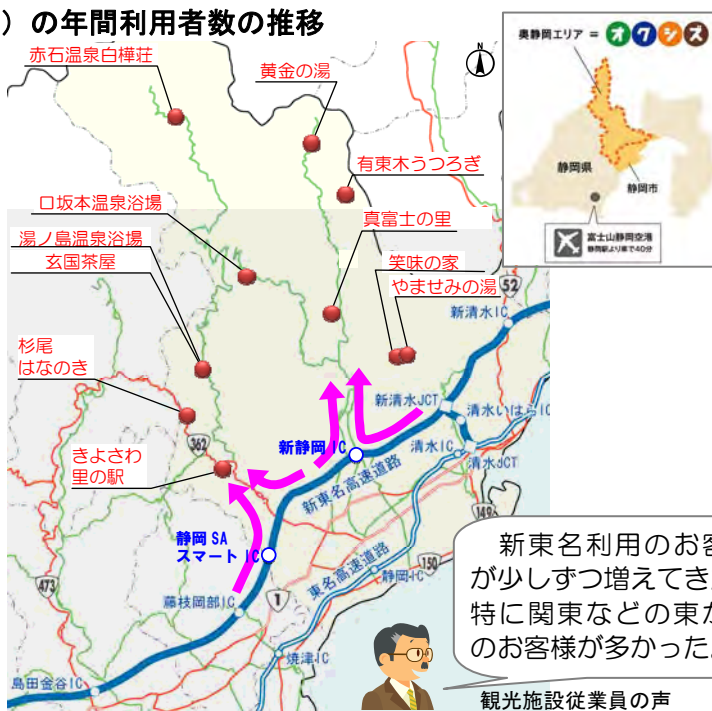
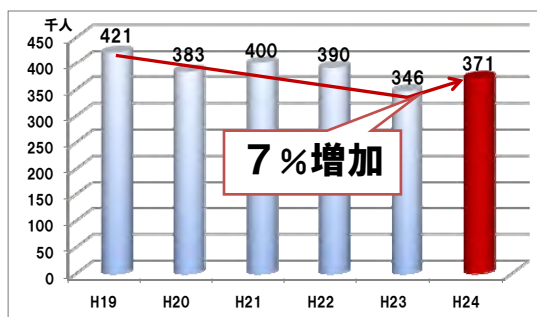


富士山せせらぎ広場（富士宮市）

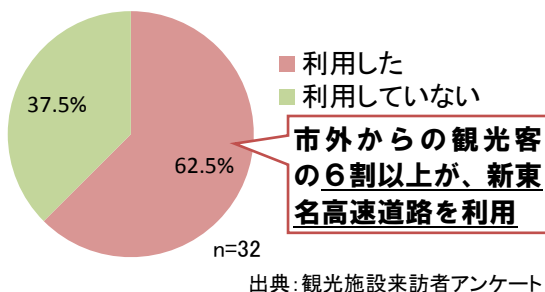


出典: 国土交通省 中部地方整備局・浜松市
 車籍地・利用者アンケート調査結果
 開通前: 平成23年11月20日(日)アンケート配布・車籍地調査(14時台)
 開通後: 平成24年9月23日(日)アンケート配布・10月7日(日)アンケート配布・車籍地調査(14時台)

■オクシズ（静岡市）の主要施設（11箇所）の年間利用者数の推移



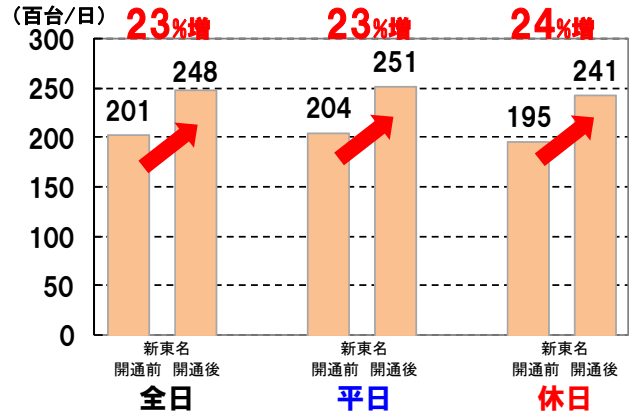
■静岡市外からの来訪者の新東名利用状況



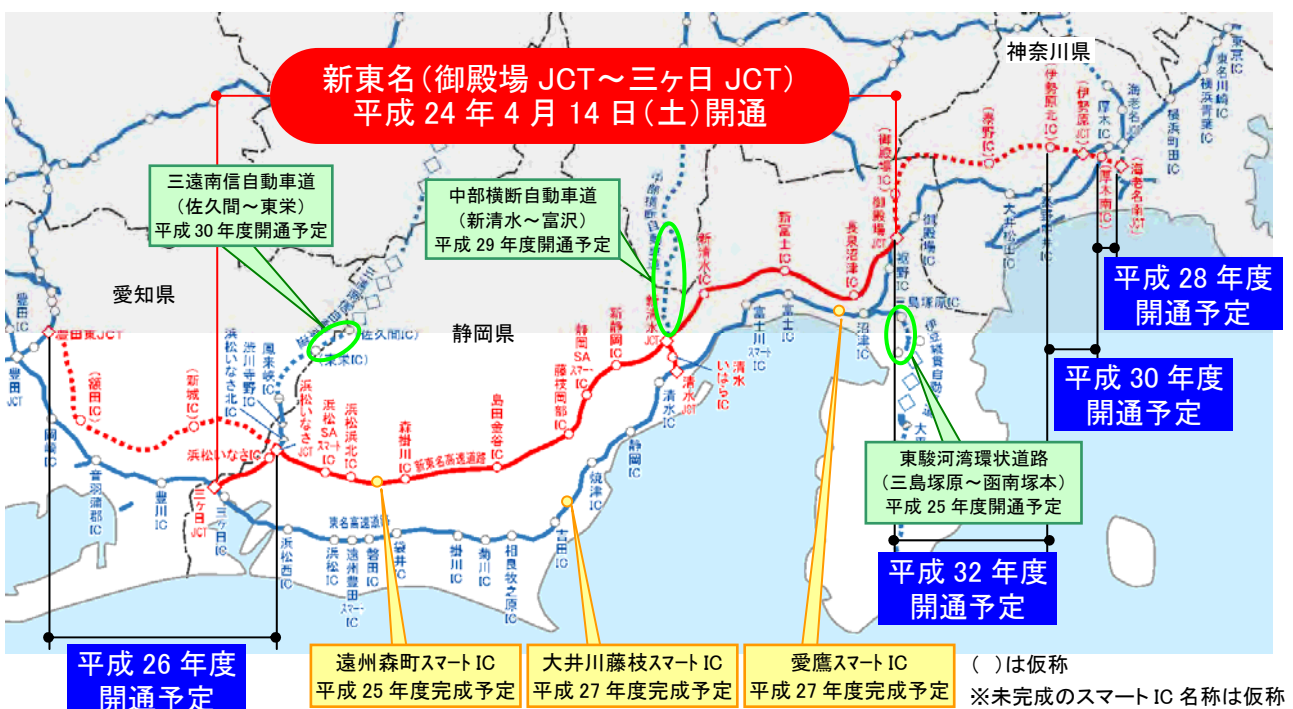
2.3. 新東名とネットワークを形成する伊豆縦貫自動車道の整備

- 平成25年度に三島塚原IC～函南塚本IC間が開通(延伸)すると、IC30分圏域は約2倍に拡大、伊豆地域全体の約4割の地域がICから30分以内で到達

■伊豆縦貫自動車道によるIC30分圏域の変化 ■伊豆縦貫自動車道の交通量



2.4. 今後の開通予定





新東名高速道路(御殿場JCT～三ヶ日JCT)のホームページをご覧ください。

アドレス：<http://www.shintomei-shizuoka.net>

新東名 (御殿場JCT～三ヶ日JCT) **開通**
つなぐ・ひろがる しずおかの道

中部地方整備局や静岡国道事務所のホームページにある上記のバナーからもアクセスできます。

東海道
新時代の幕開け

つなぐ・ひろがる しずおかの道

新東名高速道路(御殿場JCT~三ヶ日JCT) 2012年4月14日開通



- ▶ お知らせ
- ▶ 新東名の開通効果
- ▶ 沿線観光情報
- ▶ 広報資料
- ▶ 新東名(静岡)インパクト調整会議

国土交通省
中部地方整備局

静岡国道事務所
沼津河川国道事務所
浜松河川国道事務所

新東名の開通効果



こちらにパンフレットデータを掲載



主な新東名の開通効果

- ▶ 新東名と東名で交通量を分担、渋滞は約9割減少
- ▶ 東名速度が約5キロ上昇、人身事故件数は約3割減少
- ▶ 新東名、東名とも利用者の約9割が満足
- ▶ 東名 所要時間のばらつきが1/2に減少
- ▶ 東名 GW・お盆の所要時間のばらつきが1/3に減少
- ▶ 通過交通の約7割は新東名を利用、内々は東名を利用
- ▶ 新東名開通直後(10日後)から迂回機能を発揮
- ▶ 高速インターチェンジ30分圏域が拡大、観光客の行動変化
- ▶ 生活道路を通過する交通が約7割減少、通学が安全安心に
- ▶ 今後の開通予定

